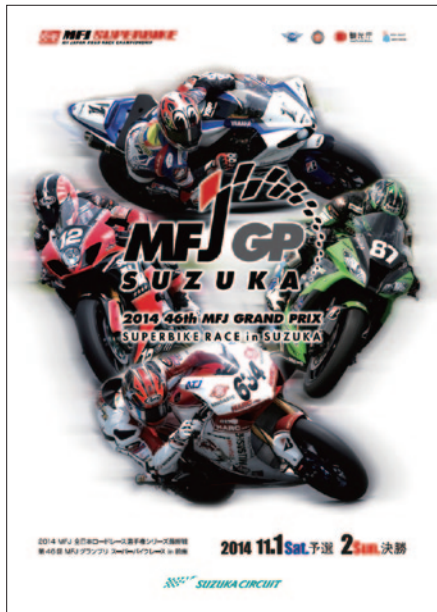




MFJ GP SUZUKA





B2ポスター

【イベント概要】

- イベント名：2014 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦 第46回 MFJグランプリ スーパーバイクレースin鈴鹿
- 併催：鈴鹿・近畿選手権シリーズ第6戦 鈴鹿サンデーロードレース
- 日程：2014年11月1日(土) 公式予選・決勝レース
2日(日) 決勝レース
- 主催：株式会社モビリティランド
一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
- 公認：国際モーターサイクリズム連盟(FIM)
- 後援：文部科学省/観光庁/三重県/鈴鹿市/
鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/
一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 開催レース：文部科学大臣杯全日本選手権 JSB1000クラス
全日本選手権 ST600クラス
全日本選手権 J-GP2クラス
全日本選手権 J-GP3クラス
CBR250R Dream CUP
- 会場：鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(2輪用:5.821km)

- 天気・動員：11月1日(土) 曇 17.0℃ 北北西の風2.6m/s 6,500人
2日(日) 雨 18.5℃ 北北西の風2.7m/s 14,000人
※気象状況は各日とも津地方気象台15:00発表

【メディア概要】

- 取材者数：52媒体 98名
- テレビON AIR：BS12 TwellV
11月10日(月) 20:00～20:54
- 公式サイト：鈴鹿サーキット公式ウェブサイト
<http://www.suzukacircuit.jp/>
MFJスーパーバイク公式ファンサイト
<http://www.superbike.jp/>



SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

今年も晩秋の鈴鹿サーキットを舞台に、MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦「第46回 MFJグランプリ スーパーバイクレースin鈴鹿」が開催されました。各クラスともチャンピオン決定の舞台となり、白熱した戦いが展開されました。

JSB1000

【レース1】

好スタートを決めた加賀山就臣に高橋巧、中須賀克行、山口辰也、柳川明、津田拓也が続き序盤から中盤にかけて熾烈なトップ争いが展開されましたが、終盤に中須賀と高橋が抜け出して一騎打ちに。中須賀が高橋を突き放して今季4勝目。3連覇に王手をかけました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	中須賀 克行	ヤマハYSPLレーシングチーム	YAMAHA YZF-R1	BS
2位	高橋 巧	MuSASHi RT ハルクプロ	Honda CBR1000RR	BS
3位	山口 辰也	TOHO Racing with MORIWAKI	Honda CBR1000RR	BS



【レース2】

チャンピオンの可能性を持つ中須賀と高橋が飛び出し、マッチレースになるかと思われたものの、高橋はマシントラブルで脱落。猛烈な追い上げで中須賀をかかわした加賀山が今季2勝目を挙げました。中須賀は3連覇と全日本最高峰クラス通算5回制覇の偉業を達成しました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	SUZUKI GSX-R1000	DL
2位	中須賀 克行	ヤマハYSPLレーシングチーム	YAMAHA YZF-R1	BS
3位	津田 拓也	ヨシムラススキェルアドバンス	SUZUKI GSX-R1000L4	BS



ST600

目まぐるしくトップが入り替わるスリリングな展開でスタートしたST600。2周目にトップを奪った大崎誠之が、食い下がる稲垣誠に対するリードを広げ、最終ラップにファステストラップを記録して2年ぶりの優勝を飾りました。9位でフィニッシュした小林龍太が初めての年間チャンピオンを獲得しました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	大崎 誠之	伊藤レーシングGMDスズカ	YAMAHA YZF-R6	BS
2位	稲垣 誠	AKENO SPEED・MIC	YAMAHA YZF-R6	DL
3位	伊藤 勇樹	petronas. Hong Leong Yamaha	YAMAHA YZF-R6	DL



J-GP2

スタート後の降雨により1周目で赤旗中断、仕切り直しとなったJ-GP2クラス。ポイントリーダーの高橋裕紀が再開後も好スタートを切り、生形秀之の追撃を振り切って今季4勝目を果たし、チャンピオンを決めました。ラストレースとなった亀谷長純は4位でエッカーを受けました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	高橋 裕紀	MORIWAKI RACING	MORIWAKI MD600	DL
2位	生形 秀之	エスバルスドリームレーシング	SUZUKI GSX-MFD6	BS
3位	浦本 修充	MuSASHi RT ハルクプロ	ハルクプロ HP6	BS



J-GP3

ホールショットを奪った山田誓己でしたが小室旭、宇井陽一、徳留真紀、作本輝介、岩戸亮介、菊池寛幸、鳥羽海渡らがこれに加わり、激しく順位を入れ替える展開に。最終ラップで鳥羽がトップに立ち、激戦を制しました。タイトルは2年連続で山田が獲得しました。

	RIDER	TEAM	MACHINE	TIRE
優勝	鳥羽 海渡	TEC2 & TDA & NOBBY	Honda NSF250R	BS
2位	岩戸 亮介	Club PARIS RSC	Honda NSF250R	BS
3位	大久保 光	ウイダー Hot Racing	Honda NSF250R	DL



※詳しいリザルトレポートは下記をご参照ください。

鈴鹿サーキット公式ウェブサイト <http://www.suzukacircuit.jp/> MFJスーパーバイク公式ファンサイト <http://www.superbike.jp/>

※BS…ブリヂストン DL…ダンロップ

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

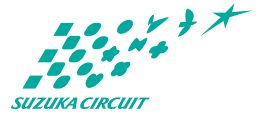
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

イベント&プロモーションシーン1



グラウンドスタンド手前のGPスクエアでは、各メーカーや自治体などのプロモーション活動が華やかに展開されました。



8耐参戦マシンや最新モデルが展示されたBMWブース。



「バイクでみえ旅キャンペーン」ブースでは、抽選で賞品が当たるスタンプラリーに参加できるパスポートを配布いただきました。



Hondaブースで行われたライダーサイン会。手前から高橋巧、山口辰也、高橋裕紀の各選手。



Hondaブースで行われたニューマシンの展示・搭乗体験。



最新モデルの搭乗体験が行われたSUZUKIブース。



YAMAHAブースで行われたじゃんけん大会。ステキな賞品をかけて「最初はY!」がおなじみの合言葉です。

PICK UP 1

ペダルなし2輪車、ストライダー。11月22日(土)・23日(日・祝)に行われる「STRIDER-1 SUZUKA GP 2014 ~コチラ35th アニバーサリー~」の体験コースがGPスクエアに登場、模擬レースも行われ、大勢の子どもたちがチャレンジしました。さらにトップ2輪チームとコラボしたスペシャルストライダーも展示(右)されました。



SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

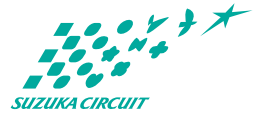
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

イベント&プロモーションシーン2



株式会社カワサキモーターズジャパン様にはPRブースや応援席をはじめ、注目の次世代スーパースポーツ「Ninja H2R」のお披露目など多彩なプロモーションを行っていただきました。



KAWASAKIブース行われたJSB1000クラスの柳川明選手(右)と渡辺一樹選手のトークショー。



アジアロードレース選手権で活躍する藤原克昭選手のトークショーもKAWASAKIブースで行われました。



KAWASAKIブースで行われたじゃんけん大会。柳川選手や渡辺一樹選手と「最初はK!」の合言葉で。



2日(日)決勝日の朝には柳川選手、渡辺選手がグランドスタンドの応援席を訪れ、KAWASAKIファンたちにメッセージを送り、記念撮影を実施しました。

PICK UP 2

大きな注目を集めている次世代スーパースポーツ「Ninja H2R」が鈴鹿サーキットに登場。展示だけでなく、世界で初めて実走行が公開されました。



GPスクエアのKAWASAKIブースに展示され、注目を集めた「Ninja H2R」。



デモランに使用されたマシンはピットウォーク時に公開され、ご覧のような注目を集めていました。



藤原克昭選手のライディングで迫力のサウンドとともにフルコースでデモランを披露。



デモラン後の藤原選手のインタビュー。西ストレートでは「300km/hを超えていた」そうです。

SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

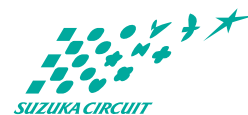
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

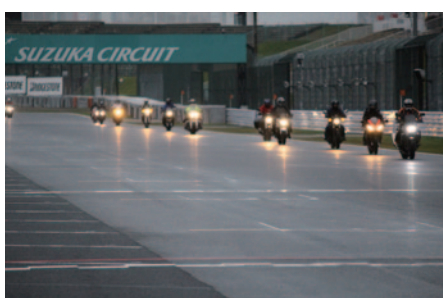
イベント&プロモーションシーン3



コチラレーシングファンクラブ、コチラちゃんファンクラブの会員の方限定で行われた「バックヤードツアー」。コントロールルーム(写真)やメディアセンターなどのプレミアムな見学ツアーをお楽しみいただきました。



コチラレーシングファンクラブ、コチラちゃんファンクラブの会員の方の中から抽選で選ばれたお客さまをJSB1000クラス記者会見にご招待いたしました。



国際レーシングコースフルコースをご自分のバイク(100cc以上)で体験走行いただいた「サーキットクルージング」。



パドックへご入場可能なお客さまを対象に行われた「キャンペーンギャルフォトセッション」。



今大会がラストレースとなる亀谷長純選手の引退セレモニーが1日(土)のピットワーク時に行なわれ、多くのライダー、関係者、ファンが集まりました。



11月29日(土)・30日(日)の「NGK杯鈴鹿サンダーロードレース」時に豪華ゲストを迎えて行われるモリワキ40周年記念イベントをサーキットビジョンでPRいただきました。

PICK UP 3

市民の皆さんにモータースポーツに親しんでいただこうと、鈴鹿市が今年開講している「モータースポーツおもしろ体験講座」。その特別編として特別ツアーが開催され、北口浩二選手の解説での観戦や、地元チーム モリワキ(写真左)とTSRのピット訪問が行われました。



SUZUKA CIRCUIT

7992. INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20,YAESU,CHUO-KU,TOKYO 104-0028,JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

【PRブース等ご出展各社】



株式会社カワサキモーターズジャパン【PR】	ビー・エム・ダブリュー株式会社【PR】	三重県【PR】
スズキ株式会社【PR】	株式会社ホンダモーターサイクルジャパン【PR・販売】	ヤマハ発動機株式会社【PR・販売】

【サーキットビジョンご協賛各社】



アサヒ飲料株式会社	Peeping Life	株式会社ホンダモーターサイクルジャパン
-----------	--------------	---------------------

【応援席ご利用社】



株式会社カワサキモーターズジャパン

【公式プログラムご協賛各社】



A4 カラー 48p 9,000部発行

アサヒ飲料株式会社	一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会
株式会社アライヘルメット	株式会社プリヂストン
株式会社三栄書房	株式会社ホンダモーターサイクルジャパン
昭和電機株式会社	ヤマハ発動機販売株式会社
住友ゴム工業株式会社	

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2014年8月25日現在